

平成22年10月28日

各位

会社名 住友信託銀行株式会社
代表者名 取締役社長 常陰 均
(コード番号 8403)
問合せ先 執行役員管理部長 西村 正
(TEL. 03-3286-8187)

平成23年3月期 第2四半期(中間期) 有価証券評価損等に関するお知らせ

保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて発生した減損処理による有価証券評価損について、お知らせいたします。

また、平成22年9月30日付「子会社の事業譲渡の完了及び子会社の解散に関するお知らせ」で公表いたしました子会社の再編に伴い発生した、平成23年3月期第2四半期の単体決算における減損処理による子会社株式評価損及び連結決算におけるのれんの減損損失の金額が確定いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 単体決算における有価証券評価損の内容

| | |
|---|------------------|
| 平成23年3月期第2四半期会計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで) の有価証券評価損の総額(=A-B) (うち子会社株式評価損の総額) | 165億円 (152億円) |
| (A) 平成23年3月期第2四半期累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで) の有価証券評価損の総額 (うち子会社株式評価損の総額) | 188億円 (152億円) |
| (B) 直前四半期(平成23年3月期第1四半期)累計期間(平成22年4月1日から 平成22年6月30日まで)の有価証券評価損の総額 (うち子会社株式評価損の総額) | 23億円 (一億円) |

2. その他

子会社の再編に伴い発生した子会社株式評価損は152億円となりました。
なお、上記1.の単体決算における有価証券評価損の総額に含まれており、また連結決算上は消去されます。
連結決算においては、当該子会社に係るのれんの減損損失60億円を計上いたします。

3. 今後の見通し

業績予想については、平成22年10月7日付「平成23年3月期 第2四半期(中間期)及び通期の業績予想の修正並びに
配当予想の修正について」で公表の通りです。

以上

本資料に含まれる予想は、当社の経営方針・財政状態を踏まえつつ、本日時点で判明している情報に基づいて作成されたものであります。実際の業績、その他の計数は、平成23年3月期第2四半期(中間期)決算の確定時点まで、各種要因によって変動する可能性があります。